

## 南スペイン，タジャンテ地域のレルゾライト捕獲岩中に産する石英を含む珪長質脈の地球化学的特徴：その起源と変遷

### Geochemical characteristics of Qz-bearing felsic vein in lherzolite xenolith from the Tallante, Southern Spain

# 森下 知晃[1], 清水 洋平[1], 荒井 章司[1], Fernando Gervilla,[2]

# Tomoaki Morishita[1], Yohei Shimizu[2], Shoji Arai[3], Fernando Gervilla[4]

[1] 金沢大・理・地球, [2] グラナダ大・地球

[1] Earth Science, Kanazawa Univ., [2] Dept. Earth Sci., Kanazawa Univ, [3] Dept. Earth Sci., Kanazawa Univ., [4] Tierra, Granada Univ

南スペイン，タジャンテ地域のアルカリ火山岩中に含まれるレルゾライト捕獲岩には，希に石英を含む珪長質脈が観察される（清水，荒井，ヘルピージャ，本公演）．そこで，この珪長質脈の主要元素，微量元素を測定し，その特徴を明らかにした．

南スペイン，タジャンテ地域のアルカリ火山岩中に含まれるレルゾライト捕獲岩には，希に石英を含む珪長質脈が観察される（清水，荒井，ヘルピージャ，本公演）．そこで，この珪長質脈の主要元素，微量元素を測定し，その特徴を明らかにした．主要元素からは，この脈がメルトの組成そのものではないこと示されるが，初性的マントルで規格化した微量元素組成パターンでは，強い左上がり，HFSE が負の異常を示すなど，島弧的な場で形成されたマグマの特徴を示す．また，アダカイトやTTGといった，スラブメルティングで形成されたと考えられるメルトのパターンと基本的には類似している．これらの岩石との違いは，珪長質脈を形成したメルトが，マントル中を上昇する過程で，壁岩であるカンラン岩との反応・同化と結晶分別を受けたことを示す．